

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | 錦糸町 II PJ | 階数 | 地上14F |
| 建設地 | 東京都墨田区 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 商業地域、防火地域 | 平均居住人員 | 101 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2023年11月 予定 | 評価の実施日 | 2022年10月6日 |
| 敷地面積 | 313 m ² | 作成者 | 株式会社イズミシステム設計 |
| 建築面積 | 200 m ² | 確認日 | 2022年10月6日 |
| 延床面積 | 2,241 m ² | 確認者 | 株式会社設計工房イー・ディー |

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

環境品質 G

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 85%
③上記+②以外の 85%
④上記+ 85%

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 3.1
Q3 室外環境(敷地内): 3.2
LR1 エネルギー: 3.5
LR2 資源・マテリアル: 3.2
LR3 敷地外環境: 3.3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

| 3 設計上の配慮事項 | | |
|---|---|---|
| 総合 | <ul style="list-style-type: none"> ・墨田区に建設される集合住宅である。 ・空地の緑化により、環境負荷の低減に配慮している。 | |
| Q1 室内環境 | Q2 サービス性能 | Q3 室外環境(敷地内) |
| <ul style="list-style-type: none"> ・開口部を大きくとり、昼光利用に配慮している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成、及び生物環境の保全に配慮している。 |
| LR1 エネルギー | LR2 資源・マテリアル | LR3 敷地外環境 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・断熱性能の高い建材を採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ノンフロン断熱材を使用しており地球環境へ配慮している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・深夜の減灯等、周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される